

## 令和3年度第2回狭山市地域公共交通会議 会議録

開催日時 令和3年12月9日(木) 午後3時00分～午後5時00分

開催場所 狭山市役所6階 602～604会議室

出席者 吉田委員(会長)、坂本委員(副会長)、関根康洋委員、関根肇委員、高原委員、藤原委員、関口委員、吉田委員、指田委員、栗原委員、原田委員、鳥山委員、高橋委員、苅谷委員、清家委員、小河委員、福永委員、伊藤委員、梅田委員、中畷委員、滝嶋委員、神田委員、西澤委員、田中委員 (24名)

欠席者 山戸委員 (1名)

代理出席者 山戸委員の代理：新行内

事務局 村井市民部長、濱田市民部次長、吉村交通防犯課公共交通担当課長、堀越主査

傍聴者数 10名

議題等

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 議題

(1) 公共交通機関の現状について

(2) 堀兼地区に導入するデマンドバス実証運行計画(素案)について

(3) その他

①福島大学経済経営学類吉田准教授による講演

4. 閉会

## 会議の経過、質疑等の内容

### 1. 会長あいさつ

### 2. 会議の成立及び会議の公開の確認

委員総数25名のところ、委員本人の出席が24名、代理出席者1名の合計25名が出席していることから、会議が成立していることを確認するとともに、会議は、「公共交通機関の現状」をはじめとする報告と意見交換が中心となることから、原則どおり公開することが決定された。

以下、吉田会長が議長となり、議事を進行した。

## 報告事項（1）公共交通機関の現状について

### <概要>

公共交通機関の現状について、事務局より資料1について報告し、西武バス株式会社関根（康洋）委員、狭山市タクシー協議会藤原委員、一般社団法人埼玉県バス協会関根（肇）委員より、それぞれ現状を報告した。

#### ○市内循環バス茶の花号

- ・平成30年1月～令和3年の12月までの月別の利用者数の推移について

#### ○西武バス株式会社

- ・令和2年度及び令和3年度におけるグループ全体の大幅な減収
- ・狭山市内路線における数億円規模の減収
- ・一部路線における減便対応

#### ○狭山市タクシー協議会（西武ハイヤー株式会社）

- ・令和3年4月から9月の夜間利用の減少
- ・令和3年10月以降、在宅勤務の影響で法人関係の利用が減少
- ・車両稼働台数の調整

#### ○一般社団法人埼玉県バス協会

- ・令和2年度の貸切バス業界の経営状況悪化
- ・令和3年度はオリンピック・パラリンピックによる需要あり
- ・令和3年10月以降、学校関係の利用が回復傾向
- ・観光需要の回復がないと厳しい経営状況が続く見込み

### <質疑>

委員 西武バスの減収割合はどのくらいになるのか？

委員 3割程度である。

## 報告事項（２）堀兼地区に導入するデマンドバス実証運行計画（素案）について

### <概要>

事務局より資料２、資料３について説明を行った。

### <質疑>

委員 運行を担うドライバーについて、派遣という表現を使っているが、運行事業者が許可申請を行うのであれば、業務委託になるのではないか？

事務局 契約形態については、検討中であり、地域やタクシー事業者と協議を行い決定します。

委員 運賃について、地区外が調整中ということだが、事務局の方で案はないのか。

事務局 バス料金、タクシー料金や公平性を考慮し、検討しています。堀兼地区の市民に対するアンケート結果では700～800円という回答が出ており、これらの回答結果も踏まえて、調整していきます。

委員 オペレーションセンターについては、市役所に設置することを想定しているのか。

事務局 オペレーションセンターは、堀兼地区の中心部で、公共施設などを中心に検討を進めています。

委員 昨年度に作成した新たな公共交通の導入方針について、他の地区も候補に挙がっていたということだが、今後、他の地区については、どのくらいのペースで検討に入るのか、もし時期がわかれば示してほしい。

事務局 堀兼地区での実証運行の評価検証を踏まえて、他の地区の検討に入るため、現時点で検討時期は未定です。

委員 他の地区でも高齢化が進んでいる。10～20年後の導入では何をやっているのかという意見になる。導入検討の目安を示してもらえると助かる。そのうち検討するという考え方は納得できない部分がある。おおよそで構わないので、目安を示してもらいたい。

事務局 デマンド交通の導入に関する取組は、地域が主体となって導入していくことを優先したいと考えています。堀兼地区での地域の取組を、他の地区にも紹介していただき、ご理解いただきながらそれぞれの地区にあった効果的な交通手

法を、地域の方々と協力して検討していきたいと考えています。そのため、現時点でいつ導入するかということはお答えできませんが、地域の方々の意識の醸成を図りながら、協力して、公共交通を充実させていきたいと考えています。

委員 市内循環バス茶の花号とデマンド交通は一緒に運行するのか。

事務局 デマンドバスについては、茶の花号、路線バス、タクシーと連携を図って推進していきたいと考えています。

委員 車両について、例えば、車椅子利用者が一人で乗り降りできるなど、どのような人でも利用できる車両の導入を検討してほしい。

事務局 いただいたご意見は参考にさせていただきます。

委員 目標収支率を30%に設定しており、収支率が30%に届かない場合は見直しを図るとなっているが、評価検証はいつの段階で行うのか。

また、資料2の6ページについて、これまでの経過と予定が記載されているが、堀兼地区の市民に対するアンケートの実施に関する記載が入っていないので、加えた方が良いと思う。

事務局 事業費や収支率などの評価検証は、年度ごとに実施していきたいと考えています。

資料2の記載内容については、ご意見を参考にさせていただきます。

委員 デマンド交通は市外の公共交通との連携も検討した方が良いと思う。また、自動運転、ドローンなどの新技術が開発されている。こうした技術の導入についても、今後検討していった方が良いと思う。

事務局 いただいたご意見は今後の参考にさせていただきます。

委員 運行時間について、16時台までの運行となっているが、夕方に帰宅することを考えた際にもう1時間くらい延長した方が良いのではないか。

委員 夕方の時間帯に関する運行は、既存のタクシー事業者の経営を圧迫するので、交通事業者として反対する。

事務局 運行時間については、堀兼地区の市民に対するアンケート結果では9時台～16時台の希望が最も多く見られました。堀兼地区内の医療機関の診療開始時

間を考慮し、交通事業者との協議も踏まえて8時台から16時台までの運行と  
しています。

### 報告事項（3）その他について

○福島大学経済経営学類吉田樹准教授による講演を行った。

～ 副会長挨拶により閉会 ～

### 配布資料等一覧

- 次第
- 座席表
- 狭山市地域公共交通会議委員名簿
- 資料1 公共交通機関の現状について
- 資料2 狭山市堀兼地区デマンドバス実証運行計画書（素案）
- 資料3 今後のスケジュール（案）
- 参考資料 堀兼地区デマンドバス運営組織について
- 参考資料 富士通AIオンデマンドバスシステムについて
- 別冊 「狭山市公共交通マップ～市内循環バス（茶の花号）路線図～」